

リビジョン管理において RCSのキーワード拡張（\$Id\$、\$Date\$等）は使用できますか？

質問

Perforceのリビジョン管理において、RCSのキーワード拡張(\$Id\$、\$Date\$等)は使用できますか？

回答

Helix Coreは以下のキーワードをサポートしています。

使用可能なキーワード一覧

```
$Id$
$Header$
$Date$:
$DateUTC$: UTC
$DateTime$:
$DateTimeUTC$: UTC
$DateTimeTZ$:
$Change$
$File$
$Revision$
$Author$
```

手順

ファイルタイプで「RCSのキーワード拡張」修飾子を使用することによって、リビジョン管理されたファイルにRCSキーワード拡張を記述し、ファイル参照時にそれを展開することができます。

コマンド例:ファイルタイプをtextに変更し、同時にRCSキーワード拡張

```
p4 edit -t text+kx filename
```

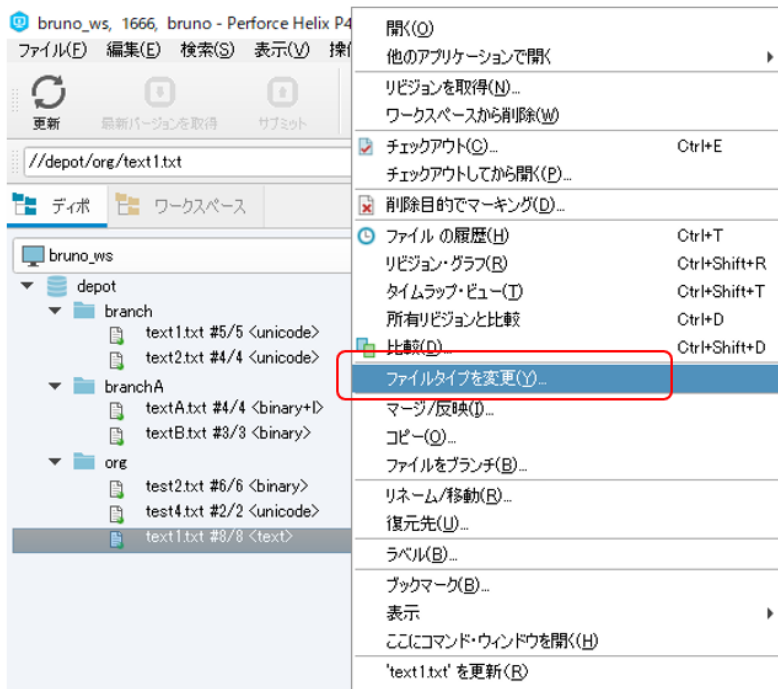


参照ページ

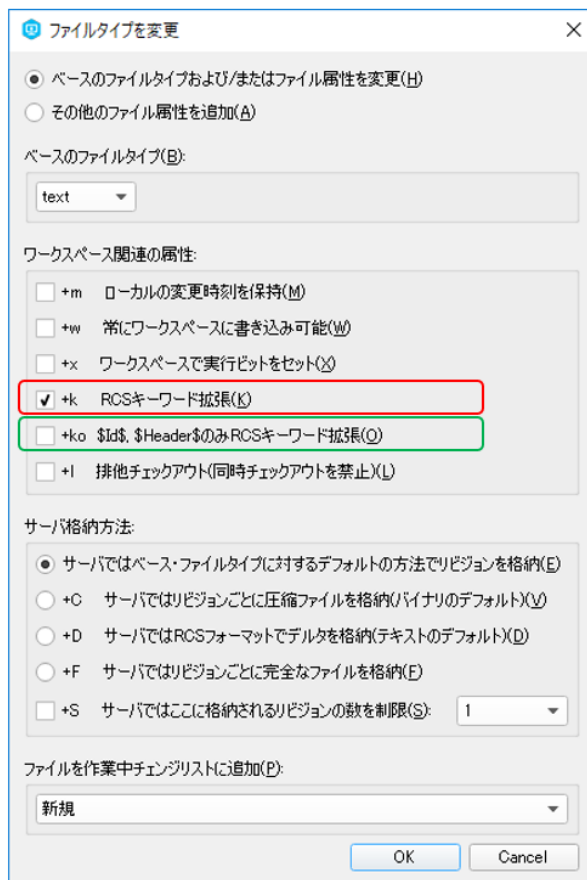
[「Helix Core P4コマンドリファレンス」 - ファイルタイプ修飾子](#)

■ P4Vの操作

1. RCSキーワード拡張するファイルを選択し、コンテキストメニューから[ファイルタイプを変更(Y)]を選択します。



2. [ファイルタイプを変更]が表示されるので、[+k RCSキーワード拡張(K)]を選択します。
※ \$Id\$・\$Header\$のみの使用の場合は[+ko]を選択できます。



3. その他、必要な項目を設定し、[OK]を押下します。
ファイルタイプに[+k]が表示されます。

